

《基礎科目》

科目名	総合演習 B				
担当者氏名	折居 明日香、中野 幹子、一山 幸子、川井 小百合、田邊 伸一、山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
介護実習、実習指導Bと組み合わせた学習で、実習の準備と実習に必要な記録物の記述方法、実習施設の基礎知識について学ぶ。介護実習の目標設定や実習後の自己の課題を抽出し、専門職としての態度や姿勢を養う。巡回教員ごとの個別指導を行い、個人の学習状況に応じた指導を実施する。

《教科書》

適宜プリントを配布する。
本学作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートや実習記録物は添削後に返却し、個別指導時に解説を行う。

《授業の到達目標》

実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設についての理解を深め、各領域で学習した知識と技術を統合し、反映した内容を記録物に記述することができる。
実習における目標や自己の課題を明確にし、個人ワークやグループワークで考える力を養うことができる。また、グループ発表で他者に説明する力を向上することができる。

《成績評価基準》

レポートで自己の考えをまとめ解答することができる。
記述後の実習記録物の評価、グループワーク等の取り組み姿勢や自分の考えを発表することができる。

《成績評価の方法》

レポート 60%
授業の取組 30%
その他(提出物) 10%

《参考図書》

「介護実習で困らないためのQ & A」
中法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：シラバスを確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
2	知識と技術の統合 (実習の意義と目的)	予習：実習要綱を確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
3	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
4	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
5	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
6	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
7	担当教員面談	予習：担当教員への質問や話したい内容をまとめておく。(30分) 復習：実習に関する配布プリントを読んで再確認する。(30分)
8	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
9	知識と技術の統合 (実習直前指導)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
10	知識と技術の統合 (実習直後指導)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
11	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
12	担当教員面談	予習：担当教員への質問や話したい内容をまとめておく。(30分) 復習：実習に関する配布プリントを読んで再確認する。(30分)
13	介護実践の科学的探究 (グループワーク発表)	予習：グループ発表に必要な資料の作成や準備を行う。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
14	介護実践の科学的探究 (グループワーク発表)	予習：グループ発表に必要な資料の作成や準備を行う。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
15	まとめ	予習：授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく。(30分) 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容の要点をノートにまとめる。(30分)

《基礎科目》

科目名	英語				
担当者氏名	西村 紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》

基礎文法の復習を行い、英文法の知識を確立する。
CDを使ったフレーズ練習により、英語の音や日常会話での表現を学び、抵抗なく発話する力を身につける。
毎回語彙テストを行い、語彙を増やすことを心掛ける。

《教科書》

プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《授業の到達目標》

英語 で学んだ基礎文法を応用して活用できるようにする。
基礎文法をさらに学び、日常の身の回りの事柄について、自分の言葉で発話できるようにする。

《成績評価基準》

基礎文法の応用力が身についているか。
身の回りの事柄について、自分の言葉で発信し説明できるか。
応用に必要な基本的語彙が身についているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート - %
課題 - % 実技 - %
授業の取組 35%
その他(提出物) 35%

《参考図書》

「英会話の基本文型 87」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講座概要と英語基本文型について	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
2	to不定詞(名詞、形容詞、副詞的用法)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
3	比較(原級、比較級、最上級)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
4	受動態	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
5	受動態演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
6	現在完了形(完了、経験、継続)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
7	現在完了形(完了、経験、継続)演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
8	現在分詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
9	過去分詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
10	現在分詞・過去分詞演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
11	関係代名詞(主格)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
12	関係代名詞(目的格)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
13	関係代名詞演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
14	後期学習内容の総復習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
15	後期学習内容の理解確認	復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	池末 愛香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】

実技を主とする

1. 日常生活での作法をより美しく身につける
2. 周囲への心配りができ、感謝する心を身につける
3. 茶道を学ぶことで、日本文化への造詣を深める
4. 前半は風炉薄茶点前、後半は炉薄茶点前を稽古する

《教科書》

帛紗セット

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業終了後レポートを作成し、次の授業までに提出する

《授業の到達目標》

繰り返し稽古することによって、心を込めたもてなしが自然体でできるようになる

思いやりを持って、お互いに接することができる

真心を込めて、お茶をたてることができる

総合文化といわれる茶道を学ぶことによって、美に対する感性を磨くことができる

日本の昔からの儀礼や慣習を体験し、覚えることができる

《成績評価基準》

授業への取り組み方

レポートの内容

所作・点前の習得度

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 30%

課題 % 実技 30%

授業の取組 40%

その他 () %

《参考図書》

『裏千家茶道』 監修・裏千家今日庵
制作・一般財団法人 今日庵

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 基本の所作	予習内容 シラパスを読む(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
2	帛紗の扱い 柄杓の扱い	予習内容 基本の所作を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
3	客の心得 運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
4	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
5	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
6	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
7	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
8	薄茶点前(風炉) 棚の扱い	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
9	柄杓の扱い 運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
10	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
11	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
12	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
13	薄茶点前(炉)棚の扱い 茶会の準備	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
14	茶会	予習内容 帛紗さばき、茶会の流れを確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
15	茶会 総括	予習内容 帛紗さばき、茶会の流れを確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)

《専門科目》

科目名	社会福祉概論B				
担当者氏名	田邊 伸一				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

・高齢者福祉制度の基本的な法律である「介護保険制度」、障害者福祉制度の基本的な法律である「障害者総合支援法」などの内容を把握し、高齢者福祉と障害者福祉の現状と課題を捉える知識を養う。
 ・人間の尊厳と自立に関わる権利擁護や個人情報保護等、介護実践に関する制度・施策の基本的な考え方を仕組みを養う。

《授業の到達目標》

・福祉の理念を理解し、尊厳保持や権利擁護の視点及び専門職として基盤となる倫理観を養うことができる。
 ・介護実践に必要な知識という観点から、社会保障制度・施策についての基礎的な知識を身につけることができる。
 ・介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び人間性を養うことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
 授業の取組 10%
 ミニテスト 10%

《教科書》

『社会の理解』（中央法規）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

・授業中に課したミニテストは、採点し原則、次の授業で返却する。

《成績評価基準》

・福祉の理念を理解し、尊厳保持や権利擁護の視点及び専門職として基盤となる倫理観を養うことができたか。
 ・介護実践に必要な知識という観点から、社会保障制度・施策についての基礎的な知識を身につけることができたか。
 ・介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び人間性を養うことができたか。

《参考図書》

書名：系統看護学講座 専門基礎分野
 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉
 著者代表：福田素生 発行者：株式会社 医学書院

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP122～P139を読んでおく(2時間) 復習：テキストP122～P133の概要をまとめる(2時間)
2	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP140～P156を読んでおく(2時間) 復習：テキストP140～P156の概要をまとめる(2時間)
3	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP157～P175を読んでおく(2時間) 復習：テキストP157～P175の概要をまとめる(2時間)
4	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP176～P190を読んでおく(2時間) 復習：テキストP176～P190の概要をまとめる(2時間)
5	高齢者福祉と介護保険制度	予習：テキストP191～P203を読んでおく(2時間) 復習：テキストP191～P203の概要をまとめる(2時間)
6	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP206～P214を読んでおく(2時間) 復習：テキストP206～P214の概要をまとめる(2時間)
7	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP215～P224を読んでおく(2時間) 復習：テキストP215～P224の概要をまとめる(2時間)
8	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP225～P235を読んでおく(2時間) 復習：テキストP225～P235の概要をまとめる(2時間)
9	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP236～P246を読んでおく(2時間) 復習：テキストP236～P246の概要をまとめる(2時間)
10	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	予習：テキストP247～P257を読んでおく(2時間) 復習：テキストP247～P257の概要をまとめる(2時間)
11	介護実践に関する諸制度	予習：テキストP260～P274を読んでおく(2時間) 復習：テキストP260～P274の概要をまとめる(2時間)
12	介護実践に関する諸制度	予習：テキストP275～P289を読んでおく(2時間) 復習：テキストP275～P289の概要をまとめる(2時間)
13	介護実践に関する諸制度	予習：テキストP290～P304を読んでおく(2時間) 復習：テキストP290～P304の概要をまとめる(2時間)
14	介護実践に関する諸制度	予習：テキストP305～P318を読んでおく(2時間) 復習：テキストP305～P318の概要をまとめる(2時間)
15	半期の学びを振り返る	予習：半期で学んだ内容を再確認しておく。 復習：授業での学びを自分なりにまとめる。

《専門科目》

科目名	障害の理解				
担当者氏名	川井 小百合				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
それぞれの障害状況に関する講義から、理解が深められるように授業を行います。

《教科書》

「障害の理解」
中央法規出版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは確認後に返却し、必要に応じて授業時に解説する。

《授業の到達目標》

身体・精神・知的障害など、様々な障害についての特性を理解し、障害の状況に応じた生活の支援について具体的に述べることができる。

《成績評価基準》

講義内容についてのレポート・まとめのミニテストにより評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
レポート 15%
授業の取組 5%

《参考図書》

「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「障害」の概念、障害者福祉の基本理念	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
2	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
3	障害の基礎的理解：視覚・聴覚・言語障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
4	障害の基礎的理解：重複障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
5	1～4までのまとめ	予習：1～4までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
6	障害の基礎的理解：運動機能障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
7	障害の基礎的理解：内部障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
8	障害の基礎的理解：内部障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
9	6～8までのまとめ	予習：6～8までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
10	障害の基礎的理解：発達障害・知的障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
11	障害の基礎的理解：高次脳機能障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
12	障害の基礎的理解：精神障害	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
13	障害の基礎的理解：難病	予習：テキストを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習：講義内容について復習する(2時間)
14	10～13までのまとめ	予習：10～13までの講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	障害者福祉論				
担当者氏名	一山 幸子				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】 「自立に向けた介護」 「介護を必要とする人の理解」：教科書、配布プリントにより障害者の制度や心理を学ぶ。「障害の医学的側面の基礎的知識」：精神科医による講義、及び DVD 視聴等により知的障害、発達障害の原因、特性、支援方法を学ぶ。「連携と協働」「家族への支援」：教科書、配布プリントにより社会資源やレスパイトケアを学ぶ。社会福祉士・介護福祉士の実務経験者が担当する。

《授業の到達目標》

「自立に向けた介護」：障害者福祉と介護保険の制度の違いを説明できる。「介護を必要とする人の理解」：障害がある人の心理、障害受容、ピアサポートを説明できる。「障害の医学的側面の基礎的知識」：知的障害、発達障害の原因、特性等を説明できる。「連携と協働」：地域のサポート体制、社会資源、サービスのしくみを説明できる。「家族への支援」：障害のある人の家族の支援、レスパイトケアを説明できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60 % レポート 20 %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 10 % その他(復習テスト) 10 %

《教科書》

最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」
 介護福祉士養成講座編集委員会 編集 中央法規
 見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022 中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業中の重要語句記入プリントや DVD 視聴のレポート課題などは、添削をして返却します。

《成績評価基準》

障害者福祉制度と介護保険制度の違いを説明できる。障害がある人の心理、障害受容、ピアサポートを説明できる。知的障害、発達障害の原因、特性、支援を説明できる。地域のサポート体制、社会資源、障害福祉サービス提供のしくみを説明できる。障害のある人の家族への支援、レスパイトケアのあり方を説明できる。

《参考図書》

よくわかる発達障害、ミネルヴァ書房障害者福祉論、全社協

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた介護：障害福祉制度と介護保険制度	予習：教科書 P37～P40を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P37～P40をノートにまとめる(2時間)
2	自立に向けた介護：障害福祉制度と介護保険制度	予習：教科書 P40～P42を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P40～P42をノートにまとめる(2時間)
3	介護を必要とする人の理解：障害がある人の心理	予習：教科書 P46～P48を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P46～P48をノートにまとめる(2時間)
4	介護を必要とする人の理解：障害受容の過程	予習：教科書 P49～P51を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P49～P51をノートにまとめる(2時間)
5	障害の医学的側面の基礎的知識：知的障害とは	予習：教科書P160～P162を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P160～P162をノートにまとめる(2時間)
6	障害の医学的側面の基礎的知識：特性と支援	予習：教科書P162～P166を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P162～P166をノートにまとめる(2時間)
7	障害の医学的側面の基礎的知識：ライフステージ	予習：教科書P167～P171を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P167～P171をノートにまとめる(2時間)
8	障害の医学的側面の基礎的知識：発達障害とは	予習：教科書P197～P202を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P197～P202をノートにまとめる(2時間)
9	障害の医学的側面の基礎的知識：特性と生活支援	予習：教科書P203～P205を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P203～P205をノートにまとめる(2時間)
10	障害の医学的側面の基礎的知識：支援機関	予習：教科書P207～P209を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P207～P209をノートにまとめる(2時間)
11	連携と協働：地域のサポート体制	予習：教科書P24～P28を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P24～P28をノートにまとめる(2時間)
12	連携と協働：地域の障害福祉サービスのしくみ	予習：教科書P28～P237を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P28～P238をノートにまとめる(2時間)
13	連携と協働：チームアプローチ	予習：教科書P238～P246を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P238～P246をノートにまとめる(2時間)
14	家族への支援：障害がある人の家族への支援	予習：教科書P250～P261を読み大事な所に下線を引く(2時間) 復習：教科書 P250～P261をノートにまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：教科書 P37～P261を読み大事な所を確認する(2時間) 復習：教科書 P37～P261の要点をまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	認知症 B				
担当者氏名	折居 明日香				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

認知症の人を中心に捉え、本人や家族、地域の力を生かした認知症ケアについて理解するための基礎的な知識やアプローチ方法を学ぶ。

この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》

認知症ケアの実践力の向上を目指し、本人の思いや症状などの個別性に応じた支援について基礎知識やアプローチ方法を理解することができる。

認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制や、他職種連携・協働による支援、認知症当事者を支える家族への支援について、基礎的な知識を説明することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
レポート 10%
授業の取組 10%
その他（小テスト）20%

《教科書》

適宜プリント配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・小テストを実施しフィードバックとして、解説の時間を設ける。
- ・授業中に課したレポートは、原則2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

定期試験および小テスト認知症に関する基礎知識について6割以上解答できる。
講義中の質問への解答、認知症に関する基礎知識についてレポートで考えをまとめ、説明することができる。

《参考図書》

最新 介護福祉士養成講座13
「認知症の理解」中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 前期の振り返り	予習：シラバスの確認。前期で配布したプリントを読んで再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(2時間)
2	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア	予習：認知症ケアの理念について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
3	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア	予習：前回の講義を振り返り疑問・質問点を挙げておく。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
4	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア	予習：パーソン・センタード・ケアについて調べておく。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
5	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア	予習：ユマニチュード・ケアマッピングについて調べておく。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
6	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア	予習：パレード・回想法について調べておく。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
7	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア	予習：認知症ケアの講義を振り返り疑問・質問点を挙げておく。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
8	授業の振り返り (小テスト)	予習：講義で配布したプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
9	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア	予習：予習課題をする。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
10	連携と協働(地域におけるサポート体制)	予習：地域における認知症ケアのサポートについて調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
11	連携と協働 (チームアプローチ)	予習：認知症ケアにおけるチームアプローチについて調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
12	家族への支援	予習：認知症当事者を支える家族への支援について調べる。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
13	家族への支援	予習：前回の講義で配布したプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
14	授業の振り返り (小テスト)	予習：後半の授業を振り返り、疑問・質問点を挙げておく。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を再確認し、ノートにまとめる。(2時間)
15	本授業のまとめ	予習：授業で配布したプリントを再確認する。(2時間) 復習：講義全体を振り返り、学んだ内容の要点をノートにまとめる。(2時間)

《専門科目》

科目名	人体構造と疾病C				
担当者氏名	中野 幹子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
身じたく」「移動」「入浴・清潔保持」「排泄」の生活支援技術の科学的根拠を考えながら学ぶ授業である。基本的には教科書にそった内容のパワーポイント資料で授業を行っていく。

《教科書》

最新・介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

予習、復習、質問、レポートによりフィードバックします。

《授業の到達目標》

「身じたく」「移動」「入浴・清潔保持」「排泄」に関連したこころとからだのしくみの医療的な知識を深めることで、対象者の健康状態への気づきと早期発見、報告のポイントを学ぶ。

《成績評価基準》

レポート、筆記試験、授業への姿勢を総合評価します。

《成績評価の方法》

筆記試験 70% レポート 10%
授業の取組 20%

《参考図書》

介護福祉士国試ナビ 中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	講義要綱
2	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	予習：身じたくの意義と目的（1時間） 復習：身じたくの必要性を理解する（1時間）
3	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	予習：毛髪・耳・目・爪の役割と機能（1時間） 復習：毛髪・耳・目・爪清潔の意義を理解する（1時間）
4	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	予習：口腔内のしくみを理解し口腔ケアの意義を理解する（1時間） 復習：口腔内ケアの方法（1時間）
5	移動に関連したこころとからだのしくみ	予習：姿勢の種類と移動の関連を学ぶ（1時間） 復習：姿勢を理解する（1時間）
6	移動に関連したこころとからだのしくみ	予習：移動の方法とからだのしくみ（1時間） 復習：移送の種類を理解する（1時間）
7	移動に関連したこころとからだのしくみ	予習：移動と筋肉と骨のしくみ（1時間） 復習：筋肉と骨の種類を理解（1時間）
8	移動に関連したこころとからだのしくみ	予習：移動に関した気づきと疾病（1時間） 復習：移動に関連した疾病の理解（1時間）
9	入浴清潔保持のこころとからだのしくみ	予習：清潔保持の意義（1時間） 復習：清潔保持の意義を理解する（1時間）
10	入浴清潔保持のこころとからだのしくみ	予習：皮膚のしくみを理解する（1時間） 復習：皮膚のしくみを理解する（1時間）
11	入浴清潔保持のこころとからだのしくみ	予習：入浴清潔の気づきと疾病の理解（1時間） 復習：病気の特徴を理解する（1時間）
12	排泄に関連したこころとからだのしくみ	予習：排尿と排便の理解（1時間） 復習：尿と便の種類（1時間）
13	排泄に関連したこころとからだのしくみ	予習：排尿障害、排便障害の理解（1時間） 復習：排尿障害と排便障害の特徴を理解する（1時間）
14	排泄に関連したこころとからだのしくみ	予習：排泄に関連した気づきと疾病の理解（1時間） 復習：排泄に関連した疾病の理解（1時間）
15	14回の復習とまとめ	予習：復習（1時間） 復習：まとめ（1時間）

《専門科目》

科目名	コミュニケーション技術B				
担当者氏名	中野 幹子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
記録の意義や留意点についての授業を行い、具体的な記録方法を学ぶ。実習においてまた行ったコミュニケーションを振り返り、各段階ごとの実習でコミュニケーション技術の向上ができる授業を行う。

《教科書》

パワーポイント資料を配布します。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

演習、課題、演習試験、実習を振り返りフィードバックを行います。

《授業の到達目標》

1. 介護業務における記録の意義、方法情報の共有と守秘義務について学ぶ。
2. 実習でのコミュニケーションの振り返りを行い、介護施設でのコミュニケーションのポイントを理解できるようになる。
3. 演習の中で、状況に応じたコミュニケーションの方法を学ぶことができる。

《成績評価基準》

コミュニケーション演習の評価、授業中の取り組みの姿勢、レポート提出により評価いたします。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート 10%
実技 50%
授業の取組 10%

《参考図書》

ケアコミュニケーション we net

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	講義要綱
2	記録の意義	予習：介護の記録について(1時間) 復習：記録の意義を振り返る(0.5時間)
3	記録の専門用語の理解	予習：介護や医療の専門用語を知る(1時間) 復習：専門用語の振り返り(0.5時間)
4	実習オリエンテーションにおける電話連絡の方法	予習：電話の方法(1時間) 復習：電話連絡の振り返り(0.5時間)
5	当事者とのコミュニケーション	予習：脳性麻痺の理解 復習：会話の振り返りレポート(1時間)
6	実習でのコミュニケーションの振り返り	予習：対象者とのコミュニケーション振り返り(1時間) 復習：振り返りレポート(1時間)
7	実習でのコミュニケーションの振り返り	予習：対象者とのコミュニケーション振り返り(1時間) 復習：振り返りレポート(1時間)
8	事例を使用したコミュニケーションの演習	予習：認知症の復習(1時間) 復習：会話の振り返りレポート(1時間)
9	事例を使用したコミュニケーションの演習	予習：認知症の復習(1時間) 復習：会話の振り返りレポート(1時間)
10	事例を使用したコミュニケーションの演習	予習：認知症の復習(1時間) 復習：会話の振り返りレポート(1時間)
11	当事者とのコミュニケーション	予習：構音障害と失語症(1時間) 復習：会話の振り返りレポート(1時間)
12	当事者とのコミュニケーション	予習：構音障害と失語症の方への対応(1時間) 復習：会話の振り返りレポート(1時間)
13	会話の演習	予習：傾聴、受容、共感技術の復習(1時間) 復習：振り返りレポート(1時間)
14	会話の演習	予習：傾聴、受容、共感技術の復習(1時間) 復習：振り返りレポート(1時間)
15	演習のまとめ	予習：14回の授業を振り返る(1時間) 復習：まとめ(1時間)

《専門科目》

科目名	生活支援技術（移動B）				
担当者氏名	田邊 伸一、山本 恭大				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】基本的な移乗・移動の支援を踏まえた応用編として、利用者の身体状況・環境に応じた移乗・移動の支援方法を学ぶ。また、対象者の自立支援を尊重し、潜在能力を引き出せるように知識・技術を養う。福祉用具では、床走行式リフトなど難易度の高い福祉用具の実践を行う。睡眠の原理や不眠の要素を理解し、適切な安眠の支援を学ぶ。介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。

《授業の到達目標》

・移乗や移動の介助をする際に根拠に基づき、実践することができる。・利用者の潜在能力を活用し、利用者の状況に応じた移動や移乗の介助ができる。・移乗や移動に関する福祉用具、福祉車両について理解し、安全に活用することができる。・休息や睡眠の原理について理解し、安眠に適する環境整備や寝具の選択などの支援ができる。

《成績評価の方法》

実技 80%
レポート 10%
授業の取組 10%

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。レポート課題は、2週間以内にコメントを返却する。

《成績評価基準》

・移乗や移動の介助をする際に根拠に基づき、実践することができたか。・利用者の潜在能力を活用し、利用者の状況に応じた移動や移乗の介助ができたか。・移乗や移動に関する福祉用具、福祉車両について理解し、安全に活用することができたか。・休息や睡眠の原理について理解し、安眠に適する環境整備や寝具の選択などの支援ができたか。

《参考図書》

最新介護福祉士養成講座6 生活支援技術 中央法規出版、
写真でわかる移乗・移動ケア ナツメ社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた移動の介護 (基本的な介助の復習)	予習：移動Aの資料を確認しておく。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
2	自立に向けた移動の介護 (基本的な介助の復習)	予習：移動Aの資料を確認しておく。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
3	自立に向けた移動の介護 (状況に応じた介助)	予習：移乗介助時の環境を考えてみる。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
4	自立に向けた移動の介護 (状況に応じた介助)	予習：利用者に応じた介助方法を考えてみる。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
5	自立に向けた移動の介護 (移乗介助)	予習：介助時の根拠をまとめておく。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
6	福祉用具の意義と活用 (福祉用具の活用)	予習：スライディングシートについて調べておく。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
7	福祉用具の意義と活用 (福祉用具の活用)	予習：介護リフトについて調べておく。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
8	福祉用具の意義と活用 (福祉車両について)	予習：福祉車両について調べておく。(30分) 復習：福祉車両についてレポートにまとめる。(30分)
9	福祉用具の意義と活用 (屋外での車椅子演習)	予習：車椅子介助の注意点を確認しておく。(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
10	休息・睡眠の介護(睡眠 のメカニズム)	予習：睡眠について考えてみる。(30分) 復習：学んだ内容をノートにまとめる。(30分)
11	休息・睡眠の介護(ポジ ショニングについて)	予習：寝返りについて考えてみる(30分) 復習：学んだ内容をノートにまとめる。(30分)
12	自立に向けた移動の介護 (多職種との連携)	予習：多職種について調べてみる。(30分) 復習：学んだ内容をノートにまとめる。(30分)
13	自立に向けた移動の介護 (振り返り)	予習：介助方法が理解できていない部分を明確にしておく(30分) 復習：演習で出来なかった技術を練習する。(30分)
14	自立に向けた移動の介護 (まとめ)	予習：今までの資料を確認しておく(30分) 復習：支援の方法や根拠をまとめる。(30分)
15	自立に向けた移動の介護 (まとめ)	予習：今までの資料を確認しておく(30分) 復習：授業全体で学んだ内容をまとめる。(30分)

《専門科目》

科目名	生活支援技術（食事）				
担当者氏名	古賀 啓之、山本 恭大				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。 1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。 1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

食事についての基本的な知識を学ぶ。
 利用者に合わせて食事の介助と、口腔ケアについて演習を行う。
 福祉用具の活用と環境整備による、自立を支援する介助を学ぶ。

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

質問・相談がある場合、授業後適宜対応する。
 試験後、講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

食事の意義と目的を理解し、根拠を持って介助が行える。
 食事介助の基本的な技術を身に付け、利用者の状況に合わせた介助が実践できる。
 自立支援の視点を養い、福祉用具の活用と環境整備ができる。
 この授業は介護福祉士として実践経験のある教員が担当する。

《成績評価基準》

実技試験による評価

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 80%
 授業の取組 20%
 その他 () %

《参考図書》

最新介護福祉士養成講座 7 第2版
 「生活支援技術」 中法現出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自立に向けた食事の介護(オリエンテーション)	予習内容 シラパスの確認 30分 復習内容 オリエンテーションの内容の振り返り 30分
2	自立に向けた食事の介護(意義・目的)	予習内容 自分の食事の傾向について考える 30分 復習内容 食事の目的についてまとめる 30分
3	自立に向けた食事の介護(意義・目的)	予習内容 食事の個性について考える 30分 復習内容 食事の必要性についてまとめる 30分
4	自立に向けた食事の介護(姿勢とリスク)	予習内容 自分の食事の姿勢についてまとめる 30分 復習内容 望ましい姿勢についてまとめる 30分
5	自立に向けた食事の介護(姿勢とリスク)	予習内容 食事の際のリスクについて調べる 30分 復習内容 食事の際のリスクについてまとめる 30分
6	自立に向けた食事の介護(様々な食事形態)	予習内容 どのような食事形態があるか調べる 30分 復習内容 介護食事についてまとめる 30分
7	自立に向けた食事の介護(様々な食事形態)	予習内容 水分のとりみについて調べる 30分 復習内容 とりみのついた水分について感想をまとめる 30分
8	自立に向けた食事の介護(環境整備)	予習内容 自分の食事をとる環境について考える 30分 復習内容 なぜ食事環境を整備するのかまとめる 30分
9	自立に向けた食事の介護(環境整備)	予習内容 施設・病院の食事環境について調べる 30分 復習内容 環境の整え方についてまとめる 30分
10	自立に向けた食事の介護(口腔ケア)	予習内容 口腔ケアについて調べる 30分 復習内容 口腔ケアのやり方についてまとめる 30分
11	自立に向けた食事の介護(福祉用具)	予習内容 福祉用具について調べる 30分 復習内容 自分で摂取する意義についてまとめる 30分
12	自立に向けた食事の介護(状況に応じた介護)	予習内容 食事介助について調べる 30分 復習内容 演習内容を振り返り 30分
13	自立に向けた食事の介護(まとめ)	予習内容 介護技術を振り返り、苦手な部分をまとめておく 30分 復習内容 演習で習得できなかった技術の練習 30分
14	振り返り・まとめ	予習内容 演習において苦手な部分を確認し、改善する 30分 復習内容 演習のポイントや留意点をまとめる 30分
15	振り返り・まとめ	予習内容 演習において苦手な部分を確認し、改善する 30分 復習内容 授業全体を振り返り、まとめる 30分

《専門科目》

科目名	生活支援技術（アクティビティ）				
担当者氏名	山本 恭大				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

- ・レクリエーションを行う目的や効果などを学ぶ。
 - ・レクリエーションの多様さを理解し利用者のニーズに応じたレクリエーションを学ぶ。
 - ・利用者が自発的に参加・活動に繋がる方法を学ぶ。
- この授業は介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。

《授業の到達目標》

- レクリエーションの意義や目的を理解することができる。
- 対象者や目標にあわせたレクリエーション演習を計画・実践することができる。
- 実践で行うことができるレクリエーションを習得することができる。
- 利用者の今までの生活歴や背景などを基に、必要な支援を検討し、必要な援助を提案できる

《成績評価の方法》

- 筆記試験 30%
- 授業の取組 70%（授業中制作物の提出状況等）

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業中に課題を出した場合は、原則として2週間後に評価して返却する。
課題が演習の準備だった場合は、演習の内容を授業中に評価してフィードバックとする。

《成績評価基準》

筆記試験によって評価する。
授業中の取り組みの様子を数値化して評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション・信頼関係づくりの方法	予習：信頼とはなにかを考える。(30分) 復習：信頼関係について考えた内容をまとめる(30分)
2	状況別に合わせたレクリエーション	予習：手だけで行える運動を考えてみる。(30分) 復習：学んだ内容を自宅で練習する(30分)
3	個人・集団で行うレクリエーション	予習：人数別で行うゲームを考えてみる。(30分) 復習：行う時のシミュレーションをして整理する。(30分)
4	主体的に楽しむ力を育むアクティビティ	予習：主体的に動くために何が必要か考える。(30分) 復習：学んだ内容をまとめる。(30分)
5	自主的に楽しむ力を育むアクティビティ	予習：ぬりえや習字等施設で実施されるレクリエーションを調べる。(30分) 復習：学んだ内容をまとめる。(30分)
6	アクティビティ活動の演習	予習：実習での自己紹介の意味について考える。(30分) 復習：学んだ内容をまとめる。(30分)
7	アクティビティ活動の演習	予習：作品の工夫点を考える。(30分) 復習：学んだ内容をまとめる。(30分)
8	アクティビティ活動の演習	予習：作品の完成形を考える。(30分) 復習：作品を仕上げた感想・改善点をまとめる。(30分)
9	利用者の意欲を引き出すアクティビティ	予習：高齢者になった時の生活を考える。(30分) 復習：学んだ内容をまとめる。(30分)
10	利用者の意欲を引き出すアクティビティ	予習：自分が高齢者になったと想定したレク計画を考える。(30分) 復習：学んだ内容をまとめる。(30分)
11	利用者の意欲を引き出すアクティビティ	予習：寄り添うレクリエーションについて考える。(30分) 復習：学んだ内容をまとめる。(30分)
12	レクリエーション活動の演習	予習：レクリエーション計画をたてる。(30分) 復習：感想をまとめる。(30分)
13	レクリエーション活動の演習	予習：レクリエーション計画をたてる。(30分) 復習：感想をまとめる。(30分)
14	レクリエーション活動の演習	予習：レクリエーション計画をたてる。(30分) 復習：感想をまとめる。(30分)
15	15 まとめ	予習：これまでの資料を確認する。(30分) 復習：学んだことをまとめる。(30分)

《専門科目》

科目名	介護過程				
担当者氏名	川井 小百合、折居 明日香				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

- 【介護福祉士必修】
- ・「客観的で科学的な根拠のある介護過程を展開できるようになる」ための基礎知識を学ぶ。
 - ・介護する上で重要な考え方を、様々な事例をもとに具体的に考える力を養う。
 - ・この授業は介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》

- 介護過程の意義・目的・展開方法を理解することができる。
 情報収集・アセスメントの視点を学び、事例をとおして記述することができる。
 他科目で学習した知識・技術を統合して、自立に向けた介護計画を立案することができる。

《成績評価の方法》

課題 90%
 授業の取組 10%

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。

《成績評価基準》

講義内容に応じた課題により、総合的に評価する。

《参考図書》

「介護過程」中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 実習段階での課題確認	予習：「実習要綱」で各実習段階での課題を確認する(30分) 復習：講義内容について復習する(30分)
2	介護過程の意義と基礎的理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
3	生活課題・ニーズ・課題の優先順位	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
4	情報収集	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
5	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
6	情報収集の実践	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
7	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
8	「介護過程実習報告会」の聴講	予習：報告会の資料を読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
9	アセスメントの理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
10	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
11	アセスメントの実践	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
12	〃	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
13	介護計画の立案・実施・評価の理解	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
14	介護計画の立案・実施・評価の実践	予習：配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
15	総括	予習：すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習：まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	実習指導 B				
担当者氏名	折居 明日香、中野 幹子、一山 幸子、川井 小百合、田邊 伸一、山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
介護実習、総合演習 Bと組み合わせた学習で、実習の準備と実習に必要な記録物の記述方法、実習施設の基礎知識について学ぶ。介護実習の目標設定や実習後の自己の課題を抽出し、専門職としての態度や姿勢を養う。巡回教員ごとの個別指導を行い、個人の学習状況に応じた指導を実施する。

《教科書》

適宜プリントを配布する。
本学作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題や実習記録物は添削後に返却し、個別指導で解説する。

《授業の到達目標》

実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設についての理解を深め、各領域で学習した知識と技術を統合し、反映した内容を記録物に記述することができる。
実習における目標や自己の課題を明確にし、個人ワークやグループワークで考える力を養うことができる。

《成績評価基準》

実習記録物に関しては、評価表を用いて実習担当教員ごとで採点、評価を行う。
授業時に出される課題に関しては、自己の考えをレポートや課題用紙にまとめ、解答することができる。

《成績評価の方法》

課題 60%
授業の取組 15%
その他(提出物) 25%

《参考図書》

「介護実習で困らないためのQ & A」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：シラバスを確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
2	知識と技術の統合 (実習の意義と目的)	予習：実習要綱を確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
3	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：実習指導Aで配布されたプリントを再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
4	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
5	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
6	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
7	知識と技術の統合(事前 オリエンテーション)	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
8	知識と技術の統合 (カンファレンス)	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
9	知識と技術の統合 (実習直前指導)	予習：実習要綱を確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
10	知識と技術の統合 (実習直後指導)	予習：実習要綱を確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
11	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
12	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：授業で配布したプリントを読んで再確認する。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
13	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
14	知識と技術の統合 (実習記録物の指導)	予習：記録物に関して、疑問・質問点を挙げておく。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を振り返り、ノートにまとめる。(30分)
15	まとめ	予習：授業を振り返り、疑問・質問点を挙げておく。(30分) 復習：授業全体を振り返り、学んだ内容の要点をまとめる。(30分)

《専門科目》

科目名	介護実習				
担当者氏名	中野 幹子、一山 幸子、川井 小百合、折居 明日香、田邊 伸一、山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	実習	単位・必選	10単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

- ・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的能力を習得する。
- ・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

《教科書》

本学作成の「介護実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習課題については、実習巡回担当教員ごとに個別指導を実施する。

《授業の到達目標》

- ・実習施設の概要を学ぶことができる。
- ・さまざまな利用者に応じたコミュニケーションや基本的な生活支援技術を見学し、実施することができる。
- ・受け持ち利用者に関する情報を収集し、生活上の問題となる状況に気づき、根拠に基づいた理由や生活課題に必要な介護を考え、記述することができる。
- ・実習生としての立場を自覚した言動を身につける。

《成績評価基準》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《成績評価の方法》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
2	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
3	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
4	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
5	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
6	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
7	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
8	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
9	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
10	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
11	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
12	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
13	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
14	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
15	実習()-2 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。

《専門科目》

科目名	芸術療法				
担当者氏名	米倉 裕子、眞弓 真由美				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】(眞弓)第8回～15回：アートセラピー技法を用いて作品制作を行う。楽しさ・カタルシスや、制作を通じた他者とのコミュニケーションを体験し、制作後は現場で制作を行う際に必要なサポートを考え、ワークシートに記入する。(米倉)第1回～7回：テキストや資料などを使用し、ワークショップを経験することで音楽の特性を系統立てて理解する。また、多くの楽曲や楽器に実際に触れて表現をする。

《授業の到達目標》

(眞弓) アートセラピー技法を用いた制作 制作の楽しさやカタルシス(心の浄化)の体感、制作を通じた他者とコミュニケーション 制作を現場で実施する際に必要なサポートの理解
(米倉)医療・福祉・教育の現場で効果的なツールとして重要視されている音楽療法の概要と現状を説明することができる。また、それに使用されている音楽の特性を理解し、将来の自分のプロフェSSIONALに適應することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 (米倉)25%
レポート (眞弓)30% (米倉)30%
課題 (眞弓)60%
実技 (米倉)20%
授業の取組(眞弓)10% (米倉)25%

《教科書》

(眞弓)プリントを配布する
(米倉)「臨床が変わる！イラストでわかる目からウロコの音楽活動」(2014)三輪書店「歌のミュージックランド」教育芸術社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

(眞弓)作品鑑賞会としてフィードバックの時間を設け、作品課題やレポートに対してコメントをする
(米倉)希望があった場合、フィードバックの講評や解説時間を設ける。

《成績評価基準》

(眞弓) 作品課題の評価 レポートの内容評価 授業への取り組みに対する熱意の評価
(米倉)期末試験・クラス内発表・クラス内提出物・受講態度

《参考図書》

(眞弓)介護・福祉・医療にかかわる人のためのアートセラピー入門 ～認知症にも効果が認められた芸術療法～(2007)ひかりのくに株式会社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション/療法的音楽活動について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
2	我々をとりまく音の特性について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
3	社会における音楽の機能について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
4	高齢者を対象にした音楽活動について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
5	児童を対象にした音楽活動について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
6	音楽療法の現場について	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分
7	フィードバック	予習：テキストを読んで理解する・30分 復習：テキストを読んで理解する・30分
8	芸術療法(アートセラピー)について	予習：授業計画を見て、内容を把握する(30分) 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)
9	会話を生み出すアートセラピー技法	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分) 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)
10	優劣の出ないアートセラピー技法(1)	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分) 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)
11	優劣の出ないアートセラピー技法(2)	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分) 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)
12	アートセラピー技法を使った回想法	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分) 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)
13	作品をQOLをあげるものに仕上げる(1)	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分) 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)
14	作品をQOLをあげるものに仕上げる(2)	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分) 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)
15	作品鑑賞会と全体の振り返り(フィードバック)	予習：配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分) 復習：配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)

《専門科目》

科目名	介護の基礎				
担当者氏名	田中 優子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。				

《授業の概要》

【本学独自の選択科目】
 介護の各場面ごとにまとめられた専門用語の意味・読み方・漢字をくり返し学習していく。
 日常会話ではなく、介護現場や施設実習でよく使われる専門用語について学習していく。

《教科書》

上下ルビーで学ぶ介護の漢字言葉
 スリーエーネットワーク

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出課題について確認後2週間以内に返却する

《授業の到達目標》

- ・介護・福祉の現場に関する専門用語がわかる。
- ・介護の場面に適した専門用語が使用でき、会話ができる。
- ・介護の事例問題を読みその内容がわかる。
- ・介護の制度や疾患や治療についてわかる。

《成績評価基準》

- ・介護・福祉の現場に関する専門用語が理解できたか。
- ・介護の場面に適した専門用語が使える会話できたか。
- ・介護の事例問題を読んでその内容が理解できたか。
- ・介護の制度や疾患や治療について理解できたか。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート 10%
 課題 % 実技 %
 授業の取組 10%
 その他 () %

《参考図書》

介護の言葉と漢字ワークブック
 段階別介護事例問題

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ユニット1 朝 ユニット2 朝食	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
2	ユニット3 口腔ケア ユニット4 日中の様子	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
3	ユニット5 排泄 ユニット6 病院・検査	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
4	まとめ ユニット1～6	予習：テキストを読んで問題を解いておく。(30分) 復習：授業で解いた問題をもう一度解いてみる。(30分)
5	ユニット7 嘔気 ユニット8 発熱	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
6	ユニット9 けが ユニット10 歩行	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
7	ユニット11 転倒・転落 ユニット12 疼痛・かゆみ	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
8	まとめ ユニット7～12	予習：テキストを読んで問題を解いておく。(30分) 復習：授業で解いた問題をもう一度解いてみる。(30分)
9	ユニット13 傾眠・痰 ユニット14 入浴	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
10	ユニット15 家族 ユニット16 行事	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
11	ユニット17 ケアプラン ユニット18 清掃・洗濯	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
12	まとめ ユニット13～18	予習：テキストを読んで問題を解いておく。(30分) 復習：授業で解いた問題をもう一度解いてみる。(30分)
13	段階別事例問題 1～10	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
14	段階別事例問題 11～20	予習：テキストを読んでおく。(30分) 復習：授業で学んだ内容を復習する。(30分)
15	まとめユニット1～18 段階別事例問題 1～20	予習：テキストを読んで問題を解いておく。(30分) 復習：授業で解いた問題をもう一度解いてみる。(30分)

《専門科目》

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N2に合格できる読解力を身に付けるために日常的な場面で使われる日本語を理解できるようにする。短文・中文の内容理解、統合理解、長文の主張理解、情報検索の読解演習をする。

《教科書》

N2読解スピードマスター

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

翌週の授業で文章中の語彙や文法を小テストで確認し、フィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、易しい評論など、論旨が分かりやすい文章を読んで文章の内容を理解することができる。
- ・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや言いたいことを理解することができる。
- ・N2に合格する。

《成績評価基準》

- ・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
- ・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	情報検索	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	情報検索	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業のプリントの復習。

《専門科目》

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N2 レベルの日本語文章を理解するための文法を学ぶ。例文を読んで、意味と接続の関係を理解しながら文法を学んでいく。その上で、機能語をマスターし、文の形や構造をしっかりと把握する練習を積む。

《教科書》

耳から覚える文法トレーニングN2

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

翌週の授業で文章中の語彙や文法を小テストで確認し、フィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる。
- ・文章の流れに合った文かどうかを判断することができる。
- ・N2 に合格する。

《成績評価基準》

- ・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
- ・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 50%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。

《専門科目》

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	志田 華奈子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日常的な場面で使われる日本語を理解するための語彙を学ぶ。特に気持ちや様子を表す形容詞や副詞にポイントを置いて学ぶ。言語知識だけでなく、N2の読解や聴解問題に役に立つ語彙を身に付けるために演習を積む。

《教科書》

N2新完全マスター文字語彙

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回小テストを実施し、フィードバックする。

《授業の到達目標》

・日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。

・N2に合格する。

《成績評価基準》

・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %

課題 % 実技 %

授業の取組 50%

その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	動詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	動詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	井上 しづ恵、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力					

《授業の概要》

時事用語やビジネス用語をきちんと理解し、常識を身に付ける。表やグラフ、統計を理解し、問題を提起できるようにする。新聞記事などを読んで、課題を見つけ、解決につながる糸口を提起できるようにする。

《教科書》

ビジネス能力検定ジョブパス2級

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回演習問題を解き、授業内で解説する

《授業の到達目標》

- ・ インターンシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
- ・ 仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・ 時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・ 表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。
- ・ ビジネス能力検定2級に合格する。

《成績評価基準》

授業での演習を通して、ビジネス能力検定2級レベルの知識、思考力、分析力を身につけることができたかを評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 60%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	会社活動の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	接客と営業の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	不満を信頼に変えるクレーム対応	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	会議への出席とプレゼンテーション	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	チームワークと人のネットワーク	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	統計・データの読み方、まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	会社数字の読み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	ビジネスと法律・税金知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	産業と経済の基礎知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスプレゼンテーション				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

プレゼンテーションは、授業での口頭発表、就活、仕事上の企画や報告など様々な場面で必要とされるスキルである。またプレゼンテーションには、発表のテクニックだけではなく、論理的思考および文章力も必要になる。この授業ではプレゼンテーションとは何かを理解し、伝えたいことを論理的に考察し、適切な音声・スライド・文章表現などを身につけて発表できるスキルを身につける。

《授業の到達目標》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができる。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につける。

《成績評価の方法》

授業内発表 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができたか。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができたか。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につけることができたか。

《参考図書》

- 『1分で話せ』伊藤羊一（SBクリエイティブ）
- 『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修（三省堂）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	プレゼンテーションの基本	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	プレゼンテーションの基本 (PREP法)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	プレゼンテーションの基本 (根拠とは)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	レポートを書く (テーマの動機付け)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	レポートを書く (段落構成の作り方)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	レポートを書く (文章作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	実習 (プレゼンテーション作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
9	実習 (中間発表)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
10	相手に伝わる話し方	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
12	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
13	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
14	授業内発表	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
15	発表評価と振り返り	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

実践的なマクロを自らアイデアを出して設計する。
上記設計の基づいてExcelシートを作成する。
作成したExcelシートのプレゼンテーション資料を作成する。
自分の作成したExcelシートのプレゼンテーションを行う。

《教科書》

今すぐ使えるかんたんエクセル2019
井上香緒里著
技術評論社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

個人ごとに課題に対する評価レポートを提示し、説明する。

《授業の到達目標》

自分で実用性のあるマクロ機能を使ったExcelシートを設計し、完成させることができる。

《成績評価基準》

- ・授業に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・出席率、予習、復習を重視します。

《成績評価の方法》

課題 60%
授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	課題マクロ作成 課題の内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	課題マクロ作成 アルゴリズム解説	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	課題マクロ作成 表とグラフのデザイン	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	課題マクロ作成 表とグラフのデザイン	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	課題マクロ作成 作成課題の提出	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	自由課題マクロ作成 自由課題の決定	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	自由課題マクロ作成 成果発表	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)